

さいたま市教育委員会
教育長 細田 眞由美 様

さいたま市教職員組合
執行委員長 大澤 博

コロナ感染急拡大(第7波)での夏季教職員研修に係る公開質問状

貴職におかれましては日頃よりさいたま市の教育のためご尽力されていることに敬意を表します。

さて、7月中旬以降コロナ感染症拡大は第7波を迎え、過去最多の感染者数を塗り替える毎日となりました。埼玉県では7月25日時点で教職員の諸研修会を非集合型で実施すると周知した一方、さいたま市教育委員会は「指導力の向上」を第一に掲げ、現地集合型の研修会開催に固執しました。

さいたま市教職員組合では7月25日、29日、8月1日と三度、市教委に対して研修会開催の変更を要請してきましたが、2500人規模の教育課程伝達講習会（不参加の場合は代理者又は欠席届が必要）、会話活動の多い英語研修会などが予定通り集合型で行われました。体育実技伝達講習会（市内全小学校から参加）が行われた8月2日はコロナ感染者最多を塗り替えるとともに、気温が39度となるこの夏一番の猛暑日でした。空調設備付きの体育館といえども、熱中症警戒アラートが発令される中マスク着用で行わせる実技演習は安全だったと言えるのでしょうか。8月3日4日には自然の教室現地研修も予定通り実施されました。寝食を共にし、長時間のバス移動もある宿泊型研修は周知のとおり感染リスクが非常に高い活動で、実施前から参加予定者から不安の声が上がっていました。

教職員のいのちと健康を軽視した研修が続く中、市内ではこれらに起因するとみられるコロナ感染事案が発生しています。

このような深刻な事態に及んでも、市教委は8月22日から24日の2泊3日で「初任者宿泊研修」を予定通り行おうとしています。参加する305名のほとんどは「条件付き採用者」です。感染不安があったとしてもそれを理由に欠席することは難しい実情です。教科担任制、オンライン授業実施などで未曾有の忙しさのなか1学期を終えた初任者が、ようやく一息つけるはずの夏休みに、深刻な感染不安にさらされることなどあってはなりません。一刻も早い非集合型への変更・中止を求めるものです。

以上、市教委の姿勢に強く抗議するとともに、以下の質問に真摯な回答を求めます。この質問状と市教委の回答は広く公表することを意図し、「公開質問状」とさせていただきます。緊急の課題を含むことから、質問1に関しては、初任者研修実施2日前（土日を除く）の8月18日までに、それ以外の質問に関しては8月25日までに、文書で誠実なご回答を求めます。

記

1. 市教委が集合型の研修を実施し続ける中で、研修会に起因したと思われるコロナ感染が発生した。今後の研修、とりわけ将来を担う大切な教職員を感染の危険にさらすことはあってはならないと考えるが、「初任者宿泊研修」について実施の可否を検討したのか。ここで感染が起こったら2日後の二学期開始時に児童生徒への感染も考えられるという認識はあるのか。特段に加えた感染対策や内容・日程の変更があるのか。また、感染が起きた場合各学校の人員不足をどのように補うのか。
2. 2022（令和4）年度のさいたま市教職員に向けて行った全ての夏季研修における、それぞれの日時、感染対策、実技やグループ討議等の有無と時間（例えば教育課程説明会の討議時間について、ある会場では感染対策として30分の予定を15分に短縮したが、ある会場では密な状態で40分間実施、というばらつきがあった）はどのように周知されたか。
3. それぞれの研修会実施後（又は実施中）にどの程度体調不良者がいたか。コロナ陽性が判明した時点で、同じ研修会に参加していた教職員にその事実を周知したか。（現在公共施設を利用する場合でも感染時に備え連絡先を記入している。）
4. 国は8月1日付の感染対策に関わる通知で抗体検査に言及し、埼玉県でも同日付で、帰省や旅行時の無料検査の実施、少人数で混雑を避けた外出などの他、自宅勤務や時差出勤の活用などを示している。一方、さいたま市ではこうした通知が出されていない。市教委は感染対策をどのように検討したのか。また、議事録はあるか。
5. さいたま市教職員組合では、7月25日に委員長が電話にて夏季研修の中止またはリモート開催について要請した。同週7月29日に「コロナ感染急拡大(第7波)での市教委の教育施策に係る抗議及び緊急要請書」を提出し、さらに8月1日にも担当課に口頭にて要請してきた。これらについて市教委関係各課でどのように検討したのか。また、議事録はあるか。
6. 埼玉県は夏季休業中の主たる研修を「オンライン等を含む非集合型研修」とし、体育実技伝達講習会も中止とした。これほど県とさいたま市の対応が異なるのはなぜか。さいたま市が本日まで集合型で実施した夏季研修について、中止やオンライン開催への変更を行わなかったのは、誰がどのように判断したからか。

NO	質 問
1	<p>市教委が集合型の研修を実施し続ける中で、研修会に起因したと思われるコロナ感染が発生した。今後の研修、とりわけ将来を担う大切な教職員を感染の危険にさらすことはあってはならないと考えるが、「初任者宿泊研修」について実施の可否を検討したのか。ここで感染が起こったら2日後の二学期開始時に児童生徒への感染も考えられるという認識はあるのか。特段に加えた感染対策や内容・日程の変更があるのか。また、感染が起きた場合各学校の人員不足をどのように補うのか。</p>
	<p>回 答</p>
	<p><教育研究所></p> <p>一般のコロナ禍においては、どのようにすれば児童生徒の学びを止めることなく教育活動を実施することができるか、教育委員会としても様々な試行錯誤を重ねてまいりました。With コロナにあっても、感染防止に留意しながら今できること、やらねばならぬことを、日常的に検討し、工夫しながら、さいたま市の教育活動を推進してきたところです。このことは、児童生徒を教え導き、その成長に大きく影響を与える教職員に対する研修の実施についても同様でございます。令和元年度末以来のコロナ禍も2年半を数え、現在では児童生徒や教職員の感染防止に対する意識も高まり、基本的な感染症対策も定着し、様々な教育活動において「With コロナ」における実践ができるようになってきたところでございます。</p> <p>さて、御質問いただいている初任者研修についてでございますが、教育委員会で行っている様々な研修の中でも、特別な意味をもつ研修であると捉えております。「教員になりたい」という夢と希望をもって初めて教壇に立つ初任者が、様々な知識のみならずかけがえのない仲間を得る場として、少しでも効果的な研修となるよう、教育委員会でも工夫を凝らして実施しております。しかし、中には、様々な課題を抱え、心身に不調をきたしてしまう初任者もいます。抱えている課題を乗り越えるためには、職場における肯定的な同僚性が大切となりますが、一般のコロナ禍によるコミュニケーションの希薄さから、好ましい人間関係が築けていない状況があることは、喫緊の課題であると認識しております。</p> <p>そこで、教育委員会では、今回の宿泊研修についても、より安全で効果を期待できる方法について検討を重ね、初任者同士のチームビルドを図るため、本研修を計画するに至りました。本研修では、学校を離れ、大自然に囲まれた環境において、仲間と寝食を共にし、和気あいあいとした中で互いに抱えている課題を共有することができます。昨年度の宿泊研修実施後の初任者からも「最初に感じていたネガティブな感情を忘れ、最終日には名残惜しさを感じています。」「全く知らなかった先生方とチームを作り、協力して活動できたことやコミュニケーションを図れたことは、これからの教員生活で必ずプラスになると思います。」等、同僚性の高まりを感じさせる感想が寄せられており、研修の成果が現れたものと認識しております。今年度においても、本研修を通して初任者の同僚性を高め、意欲をもって二学期を迎えられることを期待しているところでございます。</p> <p>また、世界基準から大きく遅れをとっていた学校教育における ICT 環境が、一般のコロナ禍により、GIGA スクール構想として一気に整備されたことで、本市においても、デジタルの優位性を活用したオンラインによる教育活動や研修等が広く普及いたしました。とりわけ、オンラインによる研修等を重ねる中で、時間や空間を超えて繋がることや、蓄積されたデータや情報の共有など、その便利さを享受しているところですが、同時に、リアルな体験を伴う対面による研修等の価値についても改めて認識しているところでございます。</p> <p>With コロナ時代の研修の在り方は、内容に応じて対面とオンラインを使い分けること、そして、当然のことながら、対面形式の研修については感染防止対策を徹底することが大切であると考えております。</p> <p>教育委員会では、宿泊研修の2日後の二学期開始時に児童生徒への感染を防止する意味からも、感染防止対策を十分に講じた上で、今回の宿泊研修を実施いたします。具体的な感染防止対策については、「さいたま市『修学旅行等実施におけるガイドライン』(第3版)」や「国立赤城青少年交流の家における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」に基づき、管理・指導を徹底いたします。特に、体調管理については、出発前や活動の合間などに、本人による検温に加えて、担当職員による非接触型の体温計を用いた検温の機会を多く設定いたします。その他にも、当初計画していた活動を、感染防止対策を徹底する観点からさらに見直すことで、食事や入浴をより小さなグループでローテーションさせたり、宿泊する部屋割りを見直して就寝時に少しでも密を回避したりするなど、極力3密の状態が避けられるような特段のプログラム及び運営方法を新たに計画に位置付けました。</p> <p>宿泊研修を終えた初任者が、充実感と高められた同僚性により、安心感と意欲をもって二学期を迎え、教員としてさらに成長する礎となるよう、教育委員会一丸となり、この宿泊研修を成功に導きたいと考えております。</p> <p><教職員人事課></p> <p>万が一、宿泊研修において初任者が新型コロナウイルスに感染した場合には、小学校では担任外の教職員が当該学級の授業を行ったり、中学校では時間割を入れ替えたりする等、各学校で工夫し、教育活動を推進してまいります。</p>

さいたま市教職員組合（大澤委員長）公開質問状について

コロナ感染急拡大（第7波）での夏季教職員研修に係る公開質問状

令和4年8月25日付

	質 問	回 答
2	<p>2022(令和4)年度のさいたま市教職員に向けて行った全ての夏季研修における、それぞれの日時、感染対策、実技やグループ討議等の有無と時間など開催の可否も含めた検討を行ったのか。(例えば教育課程説明会の討議時間について、ある会場では感染対策として30分の予定を15分に短縮したが、ある会場では密な状態で40分間実施、というばらつきがあった)。</p>	<p>教職員の資質向上を図る上で、貴重な機会となる夏季の研修の実施につきましては、三密の回避、マスクの着用、手指消毒、換気、身体的距離の確保等の基本的な感染予防対策の徹底を図るとともに、各研修会のねらいや会場の状況等に応じ、開催の可否も含め、実施方法等について個別に検討を行いました。</p>
3	<p>それぞれの研修会実施後(又は実施中)にどの程度体調不良者がいたか。コロナ陽性が判明した時点で、同じ研修会に参加していた教職員にその事実を周知したか。(現在公共施設を利用する場合でも感染時に備え連絡先を記入している。)</p>	<p>夏季休業期間においては、管理職を含めた教職員に対し、計103の研修を行いました。対面・オンライン・紙面開催等の開催方法を検討し、各研修会の趣旨を踏まえ実施いたしました。</p> <p>研修会実施中、風邪様症状による体調不良者を3名覚知しており、その際には、本人の体調を考慮しながら帰宅を促す等、適切に対応いたしました。</p> <p>なお、研修実施後2日以内に体調不良となり、その後コロナ陽性となった職員は12名おりましたが、1つの会場に陽性者が偏っていたという状況ではございません。また、それぞれの陽性者につきましては、研修会において、濃厚接触者の疑いのある者がいなかったことから、参加者への周知は行っていません。</p>
4	<p>国は8月1日付の感染対策に関わる通知で抗体検査に言及し、埼玉県でも同日付で、帰省や旅行時の無料検査の実施、少人数で混雑を避けた外出などの他、自宅勤務や時差出勤の活用などを示している。一方、さいたま市ではこうした通知が出されていない。市教委は感染対策をどのように検討したのか。また、議事録はあるか。</p>	<p>埼玉県では、8月3日に新型コロナウイルス対策会議を開催し、県民に対し、「埼玉県におけるBA.5対策強化宣言に基づく協力要請」を周知しました。さいたま市においても、8月4日に新型コロナウイルス危機対策本部会議を開催し、改めて感染防止対策の徹底を周知してまいりました。また、8月16日より、さいたま市抗原検査キット無料配布事業を行っているところです。</p> <p>さいたま市教育委員会では、これまでも、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するために、教職員の服務や感染防止対策について検討を重ね、学校への通知や校長学校管理研修会等で繰り返し指導しているところでございます。なお、議事録はございません。</p>
5	<p>さいたま市教職員組合では、7月25日に委員長が電話にて夏季研修の中止またはリモート開催について要請した。同週7月29日に「コロナ感染急拡大(第7波)での市教委の教育施策に係る抗議及び緊急要請書」を提出し、さらに8月1日にも担当課に口頭にて要請してきた。これらについて市教委関係各課でどのように検討したのか。また、議事録はあるか。</p>	<p>各研修会実施については従前より、三密の回避、マスクの着用、手指消毒、換気、身体的距離の確保等の基本的な感染予防対策の徹底に努めながら、開催方法等を検討してまいりました。</p> <p>さらに、今般の要請をいただいた時点で、改めて各研修会における感染防止対策について、参加者の健康観察の強化、タイムスケジュールや座席配置の調整など、実施方法等の検討を行いました。なお、議事録はございません。</p>
6	<p>埼玉県は夏季休業中の主たる研修を「オンライン等を含む非集合型研修」とし、体育実技伝達講習会も中止とした。これほど県とさいたま市の対応が異なるのはなぜか。さいたま市が本日まで実施した夏季研修について、中止やオンライン開催への変更を行わなかったのは、誰がどのように判断したからか。</p>	<p>さいたま市教育委員会といたしましては、Withコロナ時代の研修の在り方は、内容に応じて対面とオンラインを使い分けること、そして、当然のことながら、対面形式の研修については感染防止対策を徹底することが大切であると考えております。夏季の研修につきましても、その考えに基づき、関係各課所室にて検討を重ね、実施の可否を判断し、研修を推進してまいりました。</p> <p>二学期以降の教育活動や研修等につきましても、感染症対策を徹底しながら、適切に実施してまいります。</p>